

第1回 全国スチール缶リサイクル協会 北九州市内の小学校9校表彰 —国内1位の奨励校数—

主催：スチール缶リサイクル協会

スチール缶リサイクル協会(東京都中央区銀座 理事長 宗岡正二氏)では、2月22日、北九州市戸畑区のウエル戸畑において、スチール缶の「第1回 集団回収奨励校」の表彰式を執り行った。

全国スチール缶リサイクル協会とは、同協会が昨年全国に向けて集団回収奨励校の募集を行い、大学の先生を含めた第三者有識者の選考のもと全国で17校を支援することが決まった。そのうち12校が現在集団回収を行っているところで、残り5校が今から集団回収を行うというものである。

表彰に先立ち、スチール缶リサイクル協会の酒巻弘三専務理事は、「最近、CO2の問題やエネルギーの問題など環境意識が高まっています。当協会としても何か社会貢献ができないだろうかということで検討してきました。その

結果、これからは社会的に環境学習が重要であるという認識に立ち、実践に伴う集団回収により物を大切にすることが養われるのではということで、今年度より始めました。日本は資源の無い国ですから使い終わったものを再資源化しもう一度使うという心を養って頂きたい」と挨拶を行った。

引き続き、北九州市教育委員会の神代明教育次長は、「皆さんがこれまで熱心に取り組んできた環境を守る活動、あるいはリサイクルといったものが認められ、このような素晴らしい賞を受賞されたことを大変誇りに思っています。これからも学校や地域の皆さんと一緒にそれぞれの学校で工夫したりリサイクルの取り組みをさらに進めて頂きたい」と激励の言葉を贈った。

表彰式の後、最優秀賞を受賞した八幡小学校の山本敏明校長は、「環境問題は、4年生が中心となって取り組んでいます。スチール缶の回収を子どもたちが地域のコンビニエンスストアや市民センターにお願いして地域と一緒に活動することが本校の取り組みの特徴です。昨年度は、空缶を1,000kg集めたという記録が残っています。これからも、学校、家庭、地域が一体となるところから環境問題に取り組んで行きたいと思っております」と受賞の感想を述べた。

同じく、北九州市立中井小学校の濱田君(5年)・上村君(5年)は、「リサイクル活動に取り組んで約20年が過ぎました。最近では、校内のリサイクル委員会が中心となって飲料缶や古紙などを集める活動を行っています。北九州市は、八幡製鐵所とともに栄えた都市

であることからスチール缶の特徴を学びながら、限りある資源を大切に使うことを学んでいます」と感想を述べた。

同協会の河野捷紀北九州支部長(新日本製鐵(株)八幡製鐵所)は、「北九州市が環境首都宣言して、それが小学校からこのような活動が広がっているということが大変うれしい。ましてや全国の中から約半数に相当する9校が選ばれたことは子供さんたちの誇りでもあり、地元の誇りでもある。今後この活動は、鉄鋼メーカー・スチール缶リサイクル協会と言うだけではなく、行政、教育委員会と一緒に進めた取り組み方を勉強させて頂きながら実行していきたい」と感想と抱負を述べた。

なお、表彰校の詳細はつぎのとおりである。

北九州市内 最優秀校：北九州市中井小学校、同八幡小学校 優秀校：北九州市立赤崎小学校、同あやめが丘小学校、同江川小学校、同鴨生田小学校、同槻田小学校、同中原小学校、同深町小学校 以上9校及び 市外 最優秀校：和歌山県有田川町立小川小学校、明石市立二見西小学校 優秀校：明石市立大久保南小学校 支援対象校：釧路市立鳥取西小学校、上尾市立原市南小学校、名古屋市立上名古屋小学校、稲沢市立牧川小学校、広島県府中町立府中央小学校の全17校(順不同)。



最優秀賞に選ばれた「中井小学校」



「環境学習が重要」と語る
酒巻専務理事



「学校、家庭、地域が連携した環境教育の推進を」と語る
神代教育次長



「地元の誇りである」と語る
河野支部長



「励みになります」と語る
村上中原小学校校長